

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 中部大学第一高等学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
住所 〒 470 - 0101
愛知県日進市三本木町細廻間425番地
E-mail : info@chubu-ichi.ed.jp
Website : http://www.chubu-ichi.ed.jp/
児童生徒数：男子 756 名 女子 197 名 合計 953 名
児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用 ユネスコクラブの活動として実施
- その他（部活動（科学部・国際交流部）における活動として実施）

今年度の本校のユネスコスクールとしての主な活動は以下の通りである。

- (1) 絶滅危惧種 I A 類 ウシモツゴの育成
- (2) 留学生の受け入れ 男子1名（タイ）
キズナ強化プロジェクト ベトナム訪日団受け入れ
（男子11名 女子12名）
- (3) 総合的な学習の時間における異文化理解学習（2年生対象）
- (4) 世界寺子屋運動についての展示（文化祭） 書き損じはがきの回収

本校の活動は主に、環境・生物多様性教育、国際理解教育の2本の柱からなる。絶滅危惧種の飼育は、科学部の活動の一環として行われている。同部は、グループごとに研究課題を設け、各自研究を進めている。研究テーマとしては、「色素増感太陽電池」や「バイオエタノール」などが挙げられ、学校内外での発表も積極的に行っている。ウシモツゴの飼育においては、水温変化やpHの測定を行い、水槽内の環境を定期的に調査することで、繁殖に最適な環境作りを試みている。2012年12月には、名古屋大学において開催された「高校生ESDコンソーシアム in 愛知」に参加し、「ウシモツゴ、未来の世代へ」と題した発表を行った。その際に持たれた意見交換の場では、他校の生徒と各校のテーマについて活発なディスカッションが行われた。それを通して、各自が「なぜ絶滅危惧種を守るのか」、「それが我々の生活とどのような関連があるのか」といった問いを自発的に考えることができた。また、それを機に、さらに真剣に活動に取り組もうとする姿勢が芽生えた。

国際理解という観点では、留学生の受け入れが続いている。タイからの留学生を受け入れ、ホームルームや部活動などを通して交流が行われた。それに加え、今年度はベトナム訪日団の受け入れも行い、生徒が積極的に異文化に触れる機会を得ることができた。また、2年生の総合的な学習の時間では、修学旅行で訪れるシンガポール（国内との選択制）についての事前学習を行った。事前学習では訪問国の文化、歴史、日本との関係などを広く学習し、修学旅行に備えた。

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など） CD-ROM 写真
- その他（発表のパワーポイント）